

宮

五年
筆順
画数
12

成る立ち
「勞（年464）」の意味の「**ム**」と、「宮（年3279）」の意味の「**ム**」とを組み合わせて作った字です。



「力をつくして宮殿を『いとなむ』こと」を表した字です。例造営（大仏殿の造営は大事業であった）。

「仕事をする」という意味にも使います。例営業、経営、直営。

「計画する（計る）」という意味にも使います。例営利（営利にばかり目をやらず、世のため、人のためを考えなさい）。

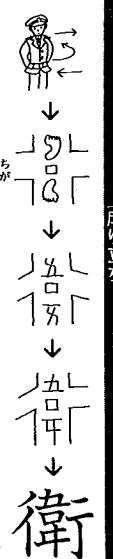
また、「軍隊の留まる所」のことを言います。例兵営、陣営。

五年

六五四

衛

五年
筆順
画数
16
成り立ち
「人」が「すれ違う」ことを足の形で表した「韋」と道の形を表した「行」とを組み合わせて作った字です。人が道を行つたり来たり（パトロール）して、「警衛（警戒しまること）」することを表した字です。



「まもる」ことです。例護衛、防衛、自衛。また、「まもる人」のことを言うのに使います。例守衛、門衛、前衛。

「韋」のつく字には「違」「偉」「緯」などがある。「違」は「道をすれ違う」意味だが、「間違う」というようにも使う。「偉」は「常人とは違つた人」の意味。「緯」は、行つたり来つたりして織る「横糸」を表した字である。」

△近頃の商店は、営業時間が長い所が多くなったので、買い物をする人には、便利です。経営者が工夫した結果でしょう。これからも買い物をする人が便利なよういろいろと工夫してもらいたいものです。

△有名な奈良の大仏は、今から千二百年以上も前、奈良時代の中頃に造営されました。大仏造営を命じたのは聖武天皇です。造営には有名な僧、行基や郎弁も参加しています。当時としては大変な事業でした。

△営業（事業を営むこと）。△経営（事業を営むこと。とくに規模を定め方針を決めて、事業を行うこと。「経営方針を変更する」などとうふうに、つかいます。）

△直営（直接、経営すること。「本社が直営している店」などとうふうに、つかいます。）

△営利（利益を計ること。「営利を第一に考える会社経営」などとうふうに、つかいます。）

△直営（直接、経営すること。「本社が直営している店」などとうふうに、つかいます。）

△営利（利益を計ること。「営利を第一に考える会社経営」などとうふうに、つかいます。）

使い方

△護衛（守ること。また、守る人）。△自衛（自分で自分を守ること。「自己防衛のため、やむを得ず相手を攻撃した」などとうふうに、つかいます。）△必要だ（必要だなどとうふうに、つかいます。）△門衛（門のそばに居て、人の出入りを取り締まる人）。△番のこと。（門番のこと。）

五年

六五五